

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月25日作成

事業番号	372	担当課等	財政課							
事務事業名	まちづくり寄附金推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	03	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P154 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(1) 財源の確保	② 自主財源の確保				
関連する個別計画	湯河原まちづくり寄附金推進事業実施要綱								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	湯河原まちづくり寄附条例に基づく寄附の推進を図るとともに、町内産業の活性化に寄与する								
対象	1万円以上の寄附をくださった町外の個人又は団体								
内容	1万円以上の寄附をくださった町外の個人又は団体に対し、その寄附金額に応じて、記念品として地元特産品、ゴルフ場利用券又は宿泊ギフト券を贈呈するもの								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
コスト	事業費	88,026,249	195,539,547	206,970,000		
	人件費	3,747,500	3,641,500	3,664,000		
	非常勤職員等					
	人件費合計	3,747,500	3,641,500	3,664,000		
	総事業費	91,773,749	199,181,047	210,634,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源		194,098,000	206,470,000		
	一般財源	91,773,749	5,083,047	4,164,000		
	財源合計	91,773,749	199,181,047	210,634,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
記念品代		寄附金額に対する記念品代のため	円	79,852,000	183,747,000	200,000,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
寄附件数		事業に対する寄附実績のため	件	2,659	4,112	850
寄附金額		事業に対する寄附実績のため	円	332,714,586	509,423,591	100,000,000

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町に対する寄附行為を推進するものであり、自主財源の確保に有効であり、必要性は高い
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	事業費以上の寄附金額があり、効率性は高い
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	上記により、効率性は保たれているものの、更なる推進を図る必要がある
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	1万円以上の寄附ではあるが、寄附をくださった個人又は団体に対する記念品の贈呈であるので、公平性は高い
平成29年度までの自己評価または改善点	平成29年度は4,000件、5億円を超える寄附をいただき、自主財源の確保に貢献した。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	1
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	平成30年1月1日から返礼割合を5割から3割に引き下げたことに伴い、寄附額の減少が見込まれる。寄附額の減少幅を抑えるため、PR活動に注力するとともに、当該事業の記念品を利用して湯河原を訪れていただいた方に対して、おもてなしの提供を検討する。
平成31年度以降の方向性	本町の自主財源の確保に、大きく貢献する事業であり、今後も継続していく。

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(拡大)	本町の自主財源の確保に、大きく貢献する事業であり、今後も継続していく。
------	--------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

宿泊ギフト券利用者への特典を旅館協同組合と検討する。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(拡大)	
------	--------	--

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月25日作成

事業番号	475	担当課等	財政課								
事務事業名	湯河原町土地開発公社補助金										
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	III 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	(4) 土地開発公社の適切 な運営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	湯河原町土地開発公社の経営健全化の推進								
対象	湯河原町土地開発公社								
内容	湯河原町土地開発公社へ損失補てんや利子補給などを算定根拠とする補助金を交付する								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
コスト	事業費	14,881,999	14,288,682	19,604,000		
	人件費	1,499,000	1,456,600	1,465,600		
	非常勤職員等					
	人件費合計	1,499,000	1,456,600	1,465,600		
	総事業費	16,380,999	15,745,282	21,069,600		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	16,380,999	15,745,282	21,069,600		
	財源合計	16,380,999	15,745,282	21,069,600		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
公共用地購入		債務負担行為額	円	18,123,770	27,006,015	556,437,934
損失補てん補助金		欠損金	円	12,119,000	12,119,000	32,685,752
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
土地開発公社借入額		補助金額に直接関係	円	634,000,000	592,000,000	0
土地開発公社欠損金		〃	円	57,025,759	32,685,752	0

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町の先行事業として土地開発公社に用地取得をさせているなどの経緯があり、また、土地開発公社の収入が駐車場収入のみのため、借入金利子負担及び欠損金の補てんを必要とする
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 借入金利子の補助金により簿価の上昇を抑制し、損失補てんの補助金により債務を圧縮している
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 土地開発公社の借入金及び欠損金が年々減少している
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 土地開発公社の経営健全化を図ることにより、補助金等の負担が減少する
平成29年度までの自己評価または改善点	平成22年度に土地開発公社からの公共用地の購入費の債務負担行為を設定した	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	国から平成30年度中に経営健全化方針の策定を求められているため、方針を策定し、経営健全化を進めていく
平成31年度以降の方向性	公共用地の買戻しを進め資産の削減を図ることにより、長期借入金が増え支払利息の削減を進めるとともに、土地開発公社の早期解散を実現するため現状維持とする。

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	土地開発公社の経営健全化を図り、早期解散を実現させる。
------	----------	-----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

土地開発公社の経営健全化を図り、早期解散を実現させる。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月25日作成

事業番号	479	担当課等	財政課							
事務事業名	駐車場管理事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P154 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(1) 財源の確保・拡充	② 自主財源の確保				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	町有財産の有効活用と駐車場周辺地域の利便性の確保								
対象	湯河原町民並びに観光客								
内容	駐車場の運営(湯河原駅臨時第2・3駐車場、万葉公園第1・2・3駐車場及び温泉場駐車場)								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
コスト	事業費	5,589,239	5,711,943	6,515,000		
	人件費	1,499,000	1,456,600	1,465,600		
	非常勤職員等					
	人件費合計	1,499,000	1,456,600	1,465,600		
	総事業費	7,088,239	7,168,543	7,980,600		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	7,088,239	7,168,543	7,980,600		
	財源合計	7,088,239	7,168,543	7,980,600		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
年間売上金額			円	29,055,750	21,910,490	21,710,000

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	3	駅周辺及び温泉場地区の利用者の利便性を図るため必要であるが、駐車場によっては、近隣に民間駐車場ができています
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	売り上げが減少傾向にあるが、黒字が続いている
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	駅周辺及び温泉場地区の利用者の利便性を図るため一定の成果が得られているが、駐車場によっては、近隣に民間駐車場ができています
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	すべての駐車場において、満車となる時間は少ないため、機会均等といえる。
平成29年度までの自己評価または改善点	近年は、近隣の大規模な工事の関係車両が利用していたため、収入が増加していた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	1 指定管理者制度を導入することは可能であるが、現在の町が得ている利益が大幅に減少するものと思われる。
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	自動化システムが導入されてから10年以上経過している万葉公園第2及び温泉場駐車場のシステム更新を行う。
平成31年度以降の方向性	駐車場によっては、近隣に安価な民間駐車場ができたため、料金体系の見直しの必要が考えられる。

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	町有財産の有効活用と駐車場周辺地域の利便性の確保のため、継続して実施する。
------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

経費的な部分だけでなく、安全性や利便性等も含めて指定管理者制度への移行について検討する。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月25日作成

事業番号	503	担当課等	財政課							
事務事業名	財政調整基金積立金									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	昭和 45 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	III 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	③ 各種基金への積立				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	年度間における財源の調整を行い、町財政の健全な運営に資するため								
対象									
内容	財政調整基金の積立								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
コスト	事業費	50,138,856	209,174,289	50,200,000		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	50,138,856	209,174,289	50,200,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	138,856	174,289	200,000		
	一般財源	50,000,000	209,000,000	50,000,000		
	財源合計	50,138,856	209,174,289	50,200,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
基金積立額			円	50,138,856	209,174,289	50,200,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
年度末基金額			円	800,972,007	1,010,146,296	1,060,346,296

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)	
必要性	町が実施する必要があるのか
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か
平成29年度までの自己評価または改善点	平成29年度末残高 1,010,146,296円

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし。
平成31年度以降の方向性	町財政の健全な運営に資するため、継続して実施したい。

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月25日作成

事業番号	507	担当課等	財政課									
事務事業名	町債管理基金積立金											
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成	2	年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなで作る自立と 協働のまちづくり	III 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	③ 各種基金への積立				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	町債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる町財政の健全な運営に資するため								
対象									
内容	町債管理基金の積立								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
コスト	事業費	241	240	5,000		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	241	240	5,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	241	240	5,000		
	一般財源	0	0	0		
	財源合計	241	240	5,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
基金積立額			円	241	240	5,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
年度末基金額			円	2,424,963	2,425,203	2,500,000

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)	
必要性	町が実施する必要があるのか
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か
平成29年度までの自己評価または改善点	平成29年度末残高 2,425,203円

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし。
平成31年度以降の方向性	町債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる町財政の健全な運営にすするため、継続して実施する。

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月25日作成

事業番号	511	担当課等	財政課							
事務事業名	まちづくり基金積立金									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成 2 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	③ 各種基金への積立				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	湯河原町のまちづくりを応援しようとする個人又は団体から寄付を募り、これを財源として事業を実施することにより、湯河原町民はもとより湯河原を訪れた人々に喜びや安らぎを与え、個性豊かで活力あるまちづくりに資するため継続して行う。								
対象									
内容	まちづくり基金の積立								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
コスト	事業費	300,001,211	542,082,216	100,100,000		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	300,001,211	542,082,216	100,100,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	300,001,211	542,082,216	100,100,000		
	一般財源	0	0	0		
	財源合計	300,001,211	542,082,216	100,100,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
基金積立額			円	300,001,211	542,082,216	100,100,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
年度末基金額			円	383,708,437	508,028,653	187,990,000

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)	
必要性	町が実施する必要があるのか
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか
類似性	他事業との類似はないか
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か
平成29年度までの自己評価または改善点	平成29年度末残高 508,028,653円

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	
平成31年度以降の方向性	湯河原町のまちづくりを応援しようとする個人又は団体からの寄付金をまちづくり基金に積立てたうえで、事業を実施するための財源として有効に使っていく

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

ふるさと納税寄附者の意向に沿った事業に的確に充当する。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月25日作成

事業番号	515	担当課等	財政課							
事務事業名	公共施設等総合管理計画推進基金積立金									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	III 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	③ 各種基金への積立				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	町の所有する公共施設、公用施設その他の建築物及び工作物である公共施設等について、更新、統廃合及び長寿命化など総合的な管理計画を推進するため、継続して実施する。								
対象									
内容	公共施設等総合管理計画推進基金の積立								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
コスト	事業費	893,289,000	17,061,601	200,000		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	893,289,000	17,061,601	200,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	893,289,000	17,061,601	200,000		
	一般財源	0	0	0		
	財源合計	893,289,000	17,061,601	200,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
基金積立額			円	893,289,000	17,061,601	200,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
年度末基金額			円	814,837,000	831,898,601	832,098,601

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)	
必要性	町が実施する必要があるのか
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か
平成29年度までの自己評価または改善点	平成29年度末残高 831, 898, 601円

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	地域福社会館の建て直しや改修に特化して充当する。
平成31年度以降の方向性	町の所有する公共施設、公用施設その他の建築物及び工作物である公共施設等について、更新、統廃合及び長寿命化など総合的な管理計画を推進するため、継続して実施する。

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月25日作成

事業番号	523	担当課等	財政課							
事務事業名	万葉荘分割取得事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	⑥ 万葉荘の活用				
関連する個別計画	観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	万葉荘の取得								
対象	湯河原町民並びに観光客								
内容	神奈川県が提唱している「未病」対策の実施や観光振興におけるロングステイツーリズムを実施するため、神奈川県から万葉荘を取得するもの								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
コスト	事業費	66,189,750	13,855,890	13,850,000		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	66,189,750	13,855,890	13,850,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	66,189,750	13,855,890	13,850,000		
	財源合計	66,189,750	13,855,890	13,850,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
宿泊者数		地域経済への寄与	人	21,275	21,050	20,000
観光協力金		町財政への寄与	円	1,133,000	1,927,500	1,000,000

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町内における更なる宿泊施設の減少は、地域における就業、地域経済、本町財政へ大きな影響があるため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 平成29年度以降は、事業者からの使用料で県への償還金を賄っている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 地域における就業、地域経済及び本町財政へ寄与している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 機会均等といえる。

平成29年度までの自己評価または改善点	
---------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 公の施設ではないため、指定管理者制度を導入することはできない。
平成30年度の見直し及び改善 (実績または予定)	
平成31年度以降の方向性	平成31年度まで、現在の運営業者が運営する。

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

町内における就労の拡大、地域経済の活性化等に大きく影響するため、引き続き、宿泊施設としての活用が図れるようにする。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月25日作成

事業番号	7849	担当課等	財政課							
事務事業名	駐車場自動化システム整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P154 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(1) 財源の確保・拡充	② 自主財源の確保				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	町有財産の有効活用と駐車場周辺地域の利便性の確保								
対象	湯河原町民並びに観光客								
内容	自動化システムが導入されてから10年以上経過している万葉公園第2及び温泉場駐車場のシステムの更新								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)	
コスト	事業費			2,069,000	
	人件費				
	常勤職員				
	非常勤職員等				
	人件費合計	0	0	0	
	総事業費	0	0	2,069,000	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	2,069,000	
	財源合計	0	0	2,069,000	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	3 温泉場地区の利用者の利便性を図るため必要であるが、駐車場によっては、近隣に民間駐車場ができています
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 売り上げが減少傾向にあるが、黒字が続いている
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3 温泉場地区の利用者の利便性を図るため一定の成果が得られているが、駐車場によっては、近隣に民間駐車場ができています
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 すべての駐車場において、満車となる時間は少ないため、機会均等といえる。
平成29年度までの自己評価または改善点	特になし。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	指定管理者制度を導入することは可能であるが、現在の町が得ている利益が大幅に減少するものと思われる。
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)		
平成31年度以降の方向性	万葉公園第3駐車場の自動化システムが導入されてから6年経過しているため、システムの更新が必要となってくる。	

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	町有財産の有効活用と駐車場周辺地域の利便性の確保のため、継続して実施する。
------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

経費的な部分だけでなく、安全性や利便性等も含めて指定管理者制度への移行について検討する。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--